

法人 気仙沼 Wave

2026
5



法人会キャラクター
けんたくん

「潮風を彩る願い」
はまなす海洋館
Photo by Ryo Konno



新春講演会報告～小野寺五典氏～
税に関する絵はがきコンクール表彰式
活動報告

- ・青年部会・女性部会
- ・管内小学校で租税教室実施！

新コーナー！「菅野税理士のちょい斬」
総会のおしらせ
会員企業紹介
－沼のPresident－（裏表紙）



KEISENNUMA_HQ.IN

新春講演会

地域と国を支える税制
— 未来への責任と挑戦 —

衆議院議員・自民党税制調査会長 小野寺 五 典氏

令和8年1月31日にゲストハウス気仙沼アーバンで開催しました。当日は衆議院議員総選挙の真つただ中という時期にもかかわらず実施され、非会員31名を含む124名が聴講しました。社会的関心の高まりの中での開催となり、税制・財政政策に対する関心の強さがうかがえる機会となりました。講師を務めた五典氏は、税制調査会長としての立場から、税制運営の現状や今後の課題について講演を行い、税制が政治判断と財政運営の交点にある重要な政策分野であることを踏まえ、制度の持続可能性や地域経済への影響について幅広い視点から問題提起がなされました。当会として、今後の地域経済の持続的発展に向け、制度変化を踏まえた適正申告と経営改善、地元循環型経済の強化に取り組む重要性を再認識しました。以下、講演内容を紹介します。

税制・財政・安全保障をめぐる構造変化と今後の課題

税制運営における意思決定構造

近年の税制運営においては、与党税制調査会が実質的な制度設計の中心的役割を担っている。税制改正は単なる増減税の議論にとどまらず、必ず代替財源の確保を含めた総合設計が求められる段階にある。政策判断においては「負担軽減の是非」ではなく、「持続

可能な財政構造をいかに構築するか」が重要な論点となっている。

物価高と地方負担の構造

物価上昇の中でも特にガソリン価格の影響は地方経済に直結している。都市部では公共交通機関が中心であるのに対し、地方では自動車依存度が高く、燃料価格の変動が家計に直接的な負担となる。このため、暫定税率の見直しなど負担軽減策が重要な課題となっているが、同時に財源の裏付けをどう確保するかが不可欠である。

デジタル経済による税収の都市集中

経済のデジタル化により、税収の地域的偏在が拡大している。フランチャイズ型企業では、地域で生じた消費の利益が本部機能を持つ都市部に集中しやすい。

また、EC事業者やプラットフォーム企業の拡大により、地方での消費が都市部本社の利益として集約される傾向が強まっている。さらに、ネット銀行やホールディングス化の進展により、法人課税ベースも都市部に偏在する構造が進んでいる。

地方財政と課税構造の見直し課題

こうした構造は地方財政の基盤を弱体化させる要因となっている。従来の拠点所在地課税の仕組みは、デジタル経済の実態と乖離しつつあり、税収配分の在り方そのものの見直しが求められている。特に国際的にはデジタル課税の議論が進んでおり、日本においても制度対応の遅れが課題となっている。



消費税制度と国際取引の課題

消費税や関税制度についても、国際取引や小口輸入の増加により制度上の隙間が拡大している。輸出還付制度の不正利用や小額貨物の免税制度の悪用など、国際的な租税回避に類する問題が指摘されている。これらは単なる税務執行の問題ではなく、制度設計そのものの見直しを

要する構造的課題である。

財政健全性と金利リスク

財政運営においては、減税や歳出拡大が進む場合の長期的影響が重要な論点となる。国債残高の増加は長期金利上昇リスクを高め、住宅ローンや企業の資金調達コストに影響を及ぼす可能性がある。財政信認の低下は為替や金融市場の不安定化につながるため、政策運営には慎重なバランスが求められる。

安全保障環境の構造変化

安全保障分野では、従来の兵力・装備中心の戦略から、サイバー戦・電子戦・ドローン・GPS妨害など情報技術を基盤とした非対称戦へと移行している。戦場では監視技術や位置情報の活用が戦局を左右するなど、戦いの性質そのものが変化している。

国際情勢と日本の対応課題

国際的には、北朝鮮とロシアの軍事協力の進展や中国の影響力拡大など、東アジアの安全保障環境は複雑化している。また米国の戦略的関与の変化も踏まえ、日本自身が主体的に安全保障戦略を再構築する必要性が高まっている。

今後求められる制度設計

今後求められる制度設計は、デジタル化・企業形態の変化により偏在する税収構造を是正し、地域間格差を縮小しつつ財政の持続可能性と公平性を両立させる事にある。フランチャイズや持株会社、EC・プラットフォーム経済の進展により、本社集中型で税収が偏る現状を踏まえ、課税ベースの再設計と地方配分ルールの見直しが必要である。また、越境取引や



講演会終了後の賀詞交歓会では、非会員8名を含む75名の参加のもと盛大に開催されました。冒頭、会長より新年の挨拶が述べられ、当会の更なる発展と会員相互の交流促進への期待が示されました。続いて、ご来賓として気仙沼市長、南三陸町長、気仙沼税務署長より、それぞれ心温まる祝辞を賜り、地域の現状と今後の展望について貴重なお言葉をいただきました。その後、当会顧問の足利金兵衛氏の力強い乾杯のご発声により、会中は華やかに幕を開け、終始和やかな雰囲気の中で交流が深められました。懇談の

新年賀詞交歓会開催

少額輸入、消費税還付の不正利用などの抜け穴を封じる制度強化も不可欠である。さらに、減税・給付の議論は財源裏付けを明確化し、国債市場の信託を損なわない責任ある財政運営を前提とすべきである。一方で企業に対しては単なる負担増ではなく、投資・賃上げを促すインセンティブ設計へ転換し、成長と税収増を両立させる構造が求められる。最終的には、透明性の高い税制とデータに基づく分配調整により、地方の自立的財政基盤を強化するのが重要である。



令和8年度税に関する絵はがきコンクール 応募作品募集中!!

今年も「税に関する絵はがきコンクール」の作品募集を行います。

本コンクールは、小学生6年生の皆さんが「税の大切さ」や「社会とのつながり」を身近に感じながら、自由な発想で表現することを目的としています。毎年、子どもたちの素直な視点や温かいメッセージが込められた作品が多数寄せられ、税への理解を広げる貴重な機会となっています。

税は、私たちの暮らしを支える道路・学校・医療・防災などの公共サービスの財源として、社会の安心と安全を支える大切な仕組みです。こうした役割を、子どもたち自身の言葉や絵で表現してもらうことで、将来に向けた理解の芽を育むことを目指しています。

ぜひ会員の皆様におかれましては、ご家庭の中でお孫さんやお子さんにお声がけいただき、本コンクールへの参加をお勧めください。

皆様からの多数のご応募を心よりお待ちしております。(応募対象：管内小学6年生 応募締切：7月21日(火))

場では会員相互の親睦が深まり、地域経済の発展と企業活動の一層の活性化に向けた意見交換が活発に行われ、新年の門出を祝う有意義な時間となりました。関係各位のご支援に深く感謝申し上げます。と同時に、今後のさらなるご指導ご鞭撻を



令和7年度税に関する絵はがきコンクール「表彰式」in 気仙沼小・新城小
税に関する絵はがきコンクールの上位3賞の表彰式を、気仙沼市立気仙沼小学校と新城小学校で開催いたしました。気仙沼小では気仙沼法人会会長賞1名、気仙沼法人会優秀賞・審査員特別賞が2名の表彰。新城小学校では東北六県連優秀賞・気仙沼税務署長賞



1名、宮城県連特別賞・気仙沼法人会女性部会長賞1名、気仙沼法人会優秀賞・審査員特別賞1名の表彰を行いました。表彰式では受賞児童に笑顔があふれ、喜びに包まれる温かな式となりました。作品を通して税への理解が深まり、学びの成果が感じられました。今後も租税教育の推進に努めていきたいと思っております。



笑顔満開♪

みんなで楽しんだ部会員交流会

令和8年2月24日、南三陸ホテル観洋において、女性部会「新春部会員交流会」を開催いたしました。当日は4グループに分かれ、グループ対抗歌合戦や法人会クイズ大会を実施し、会場は笑顔と拍手に包まれ大いに盛り上がりました。また、地元の海の幸をふんだんに使用した豪華なお料理を囲みながら、部会員同士の親睦を深めるこ



とができました。7年度を締めくくるにふさわしい、温かく和やかな交流のひとときとなりました。

学びと交流がぎゅっと詰まった!

全国女性フォーラム埼玉大会

令和8年4月16日、大宮ソニックシティにおいて開催された「全国女性フォーラム埼玉大会」に当部会より3名が参加いたしました。全国から集まった女性部会員による活動報告や、税に関する絵がきコンクールの発表などが行われ、大変有意義な大会となりました。記念講演では落語家の林家たい平氏が登壇され、多くの学びを得る機会となりました。

小さな優しさを地域へ♪

女性部会食品ロス削減運動

令和8年4月17日、女性部会では食品ロス削減運動の一環として、部会員より寄せられた食品や未使用タオルを寄贈いたしました。今年度第1便となる今回の取り組みでは、「少しでも地域や困っている方々の力になれば」という思いのもと、継続的な社会貢献活動として実施いたしました。今後も身近な支援活動を大切にしなが、地域とのつながりを深めてまいります。今年度も4便以上の寄贈を行えるよう、部会員一丸となり、支え合いの気持ちを忘れずに取り組めたらと思います。



学びも交流も充実!

女性部会定時総会を開催

令和8年5月14日、女性部会定時総会を開催し、令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予算などの各議案について審議を行いました。全議案は満場一致で可決承認され、新年度が正式にスタートいたしました。総会後には、アフラック生命保険株式会社様による「がんを知るセミナー」を開催し、健康や備えについて理解を深めました。また、



全国女性フォーラム広島大会のDVD鑑賞と昼食交流会も行われ、終始和やかな雰囲気の中、部会員同士の交流を深める充実した一日となりました。

租税教室を開催しました

今回初めて部会員が講師にチャレンジしました!講師研修会も開催し事前準備はばっちりであり、今年度は3校(新城小・鹿折小・松岩小)を担当しました。





「生成AI」で仕事が変わる！ 青年部会セミナーを開催

令和8年2月16日、青年部会主催による「生成AI活用仕事術セミナー」を開催し、約50名が参加しました。講師より、ChatGPTをはじめとする生成AIの基本的な活用方法や、業務効率化につながる実践的な仕事術について講演いただきました。参加者からは「すぐに業務へ活かしたい」など多くの好評の声が寄せられ、有意義な学びの機会となりました。

来年度へ向けてレベルアップ！ 租税教室講師研修会を開催

令和8年3月9日、租税教室講師研修会を開催しました。研修会では実際の授業を想定した模擬授業を行いながら、子どもたちへ税の役割や大切さを分かりやすく伝えるための指導方法を考えながら、講師用台本の見直しも実施し、より理解しやすい内容となるよう意見交換を行いました。



新年度スタートに向けて始動！ 青年部会第1回幹事会開催

令和8年4月24日、青年部会第1回幹事会を開催しました。会議では、翌月に予定されている定時総会に向け、議案内容の確認や令和7年度収支決算について

協議を行いました。また、新年度事業の方向性や今後の活動についても意見交換が行われました。

新たな1年へ、想いをつないで 青年部会定時総会・卒業懇親会開催

令和8年5月15日、青年部会定時総会を開催しました。令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予

算など各議案について審議を行い、全議案が満場一致で可決承認されました。総会終了後には、nine・oneに会場を移し、卒業懇親会を開催しました。今年度は3名の部会員が卒業を迎え、それぞれより挨拶をいただきました。卒業記念品を贈呈しました。終始和やかな雰囲気の中、親睦を深める有意義な時間となりました。

租税教室で 「税」の大切さを伝える

管内小学6年生を対象に租税教室を実施いたしました。今年度は新たに2名の部会員が新講師となり、4校5クラス(津谷小・気仙沼小・階上小・九条小)を担当しました。

- 5月7日 津谷小／講師…榎オートボ
ダイ菅原 菅原部会員
- 5月12日 気仙沼小6・2／講師…榎東
北安田 生駒幹事
- 5月12日 気仙沼小6・1／講師…榎丸
和 尾形副部会長



- 5月15日 階上小／講師…柳吾妻モイ
タース 吾妻幹事
- 5月29日 九条小／講師…生駒幹事



半世紀の感謝を未来へ！ 創立50周年記念事業スタート



令和8年4月3日、創立50周年記念事業第1回実行委員会を開催しました。気仙沼法人会は本年度、創立50周年という大きな節目を迎えます。これまで当会を支えてくださった会員

の皆さま、地域の皆さまへの感謝を形にするため、現在、記念講演会および記念式典の開催に向けた準備を進めております。実行委員会は岡本会長、石川副会長をはじめ約20名で構成されており、この日はこれまでの経過確認や今後の方向性について活発な意見交換が行われました。50周年の節目を会員の皆さまとともに盛り上げられるよう、今後も各種事業に取り組みまいります。

フレッシュな第一歩！

新入社員スキルアップセミナー開催

令和8年4月7日、新入社員を対象とした「新入社員スキルアップセミナー」を開催しました。当日は多くの新入社員の皆さまにご参加いただき、社会人としての第一歩を踏み出すための基礎知識を



交えながら理解を深めていただきました。参加者の皆さまは真剣な表情で取り組まれており、積極的に学ぶ姿勢が大変印象的でした。本セミナーで学んだ内容が、今後の業務や職場での活躍につながることを願っております。

知って得する！決算・申告ポイント 講座&ダイレクト納付活用術

令和8年4月23日、気仙沼税務署より講師をお招きし、「決算・申告のポイント講座」を開催しました。今年度第1回目となる今回は、前半で決算や申告における重要なポイントについて、実務に役立つ内容を中心に詳しく解説いただきました。後半では、近年利用が広がっている「ダイレクト納付」について説明が行



学んでいたいただきました。セミナーでは自己紹介から始まり、ビジネススマナーや名刺交換、コミュニケーションの基本など、実践を

われ、利便性や活用方法について学びました。ダイレクト納付は、事務所内で納付手続きができるほか、指定期間設定も可能であり、業務効率化につながる便利な制度です。参加者の皆さまも熱心に耳を傾けられていました。今後はダイレクト納付説明会の開催も予定しております。

理事会へ向けて一致団結！ 第1回正副会長会議開催

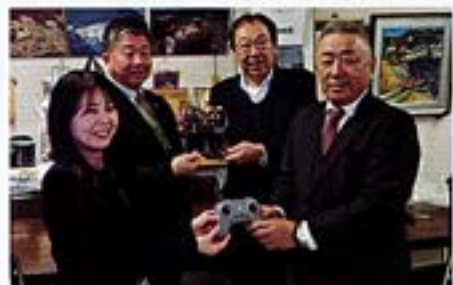
令和8年5月8日、第1回正副会長会議を開催しました。会議では、理事会に向けた令和7年度収支決算報告について確認・協議を行い、公益法人会計基準に基づく適正な運営に向けて慎重に準備を進めました。数字一つひとつに責任が伴うことから、緊張感のある会議となりましたが、より良い法人会運営を目指し、活発な意見交換が行われました。また、創立50周年記念事業についても企画係より進捗報告があり、着実に準備が進められております。会議後には昼食を交えた意見交換も行われ、今後の事業運営に向けて学びの多い有意義な時間となりました。

南三陸高校へドローンを寄贈



当会の社会貢献活動として、志津川支部では南三陸高校へ空撮ドローンの寄贈を行いました。これまで教諭自前のド

ローンを使用し授業を行っていたそうですが、今後は寄贈品を大いに活用いただき、資格取得や様々な活動に役立てていただければ嬉しく思います。



新コーナー

「菅野税理士のちいっす」

落語好きな菅野ビジネスセンターの菅野秀寿税理士の難くないちいっすを連載します。

社の都の大学生

私は以前、東北学院大学の所得税法の講師をしていた。毎年5月になると、講義内容は不動産、事業所得、山林所得、そして青色申告制度と進んでいく。不動産所得で問題となる点の1つにこのようなものがある。

問：アパート経営をしていますが、中には空室となっている室もあります。減価償却費は、1棟分形状してもよろしいでしょうか？それとも空室部分は未計上となるのでしょうか？

答：空室部分でも維持管理が行われ、いつでも入居可能な状態であれば原価償却は可能である。

そこで、私は学生に質問した。

講師：いつでも入居可能な状態とはどのような状態を言いますか？

学生（応援団員）：はい……豊がある……です。

▶詳しくは菅野税理士まで！

令和8年度定時総会のご案内



令和8年度定時総会を下記の要領で開催いたします。会員の皆様には別途書簡にてご案内させていただきます。出欠につきましては同封の返信はがきにてご連絡くださいますようお願いいたします。

日時 令和8年 6月19日(金)
16:00～

会場 ゲストハウス気仙沼アーバン
気仙沼市本郷22-15 TEL 23-9696

※総会終了後、社会貢献大賞表彰式
並びに懇親会を開催いたします。

懇親会参加費：会員5,000円・非会員8,000円

【主催】公益社団法人 気仙沼法人会 【お問い合わせ先】TEL:22-9107 FAX:28-9133

総会次第

- 1) 報告事項
 - ①令和7年度事業報告
 - ②令和8年度事業計画・収支予算
- 2) 議事
 - 第1号議案 令和7年度収支決算承認の件

NEWインターネットセミナースタート

ビジネスを強く、未来を描く。新しい学び、ここに。



- 24時間いつでも受講可能
- 会社・自宅・外出先でもOK
- 700以上のセミナーから自由選択

会員専用ID・PWでログインすると...
限定コンテンツ & トレンドランキングが閲覧可能



今すぐアクセス



会員専用
ID/パスワードは
こちら

ID hj1217

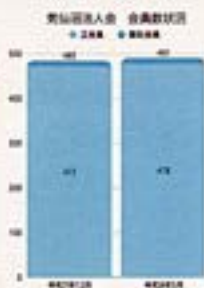
パスワード 9107

ログイン方法はこちら

1. QRコードを読み取る
2. 気仙沼法人会のホームページを開く
3. 画面を少し下へスクロールし、「インターネットセミナー」のバナーを選択
4. インターネットセミナーページへ移動後、ログイン画面を開く
5. 「ログイン」ボタンを押し、IDとパスワードを入力して完了!!

入会受付中!!

法人会は税のオピニオンリーダーとして国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です



入会金無料。お気軽にお問い合わせください。

「潮風を彩る願い」

場所：はまなす海洋館

Cover photo by Ryo Konno



1988年唐桑町生まれ。祖父の影響で写真始める。「森のてしごと志」をはじめ、数々の写真展を開催。

気仙沼では旧暦の端午の節句に上げる事が多い鯉のぼり。幼い頃、祖父が毎年上げてくれたのを覚えています。そんな光景も今では少なくなりましたが大谷海岸の海と空の青に映える鯉のぼりは風を受け、力強くなびていました。



創立50年周年、
未来へつなぐ法人会

法人会は、昭和51年10月29日の設立以来、多くの会員皆さまに支えられ、本年創立50周年を迎えます。これまでの温かいご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。記念事業として、9月27日に併優・渡辺謙氏による記念講演会、10月30日には記念式典・祝賀会を開催予定です。講演会、式典の詳細につきましては、改めてご案内申し上げます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

沼のPresident

会員企業社長インタビュー
聞かせてほしい!

当会の会員企業を応援する企業紹介コーナー！
略して“沼Pre”！
気仙沼を盛り上げる社長さんインタビュー♪
今まで知らなかったごともあっかもしらねえがら、
あんだ、ちょこっと読んでみてけれ〜♥



(有)まるきた商店 KESEMO MARINUS



Q. どんな仕事をしている会社ですか？

A. マリナスは化粧品と健康食品を販売しております。海とともに生きてきた私たちだからこそ、限りある資源に感謝しながら大切にいただく心を持ち続けるブランドとして、震災後気仙沼の企業がタッグを組み創り上げたものの販社として立ち上げました。

Q. この仕事・サービスで“大事にしていること・こだわり”は何ですか？

A. 大切にしていることは、商品を売るだけでなく気仙沼の魅力を同時に発信したい想いです。だから海のめくみのフカヒレコラーゲンだけではなく、大島産のユズも、大谷海岸のハマナス花も、老舗蔵元の酒粕も自然や体に良い気仙沼の優れたものを使わせていただいております。

Q. 今後、地域やお客様にどんな形で役に立っていきたいですか？

A. 気仙沼の魅力を、みなさまに知っていただくことを使命の一つとして、体の外側からは化粧品を通して、内側からは栄養のある食を通して発信し続けていきたいと思っております。お客様の素肌や身体の健康がその笑顔を一層輝かせ、年を重ねることが喜びに感じられる心に寄り添っていきたくです。

！オススメ！！
マリナスミスト
手に吸い付くともみで
確かな保湿！
シュッと出しても蒸れにくく、
百元ケアにセロ



KESEMO MARINUS
代表取締役社長

藤原 まゆみ さん

1959年、気仙沼市生まれ。
趣味：おいしいものを食べるこ
と。バドミントン。

(株)大信 J-FIT24



Q. どんな仕事をしている会社ですか？

A. 2022年4月に気仙沼エリア初24時間フィットネスとしてオープンし、いつでも気軽に地域に寄り添った健康づくりを支える会社です。運動を習慣化し、心身ともに成長できる場所づくりを目指しています。

Q. この仕事・サービスで“大事にしていること・こだわり”は何ですか？

A. 洗練された空間で、理想の自分へ。トレーニングマシンに加え、コラーゲンマシン・タンニングマシン完備。さらに水素水無料。ワンランク上のフィットネス体験を。

Q. 今後、地域やお客様にどんな形で役に立っていきたいですか？

A. 気仙沼を健康で魅力のある町にしていきたいです。ただ身体を鍛えるだけでなく健康習慣を通して何歳になっても自信や活動を持てる人を地域に増やしていくことへ貢献できればと思っています。

！オススメ！！
エスカレーター
クレークライマー
下半身全体を効果的に鍛えることで、
ヒップアップや美脚効果や姿勢の
改善効果が期待できます。



J-FIT24 運営責任者

熊谷 和己 さん

1993年、気仙沼市鹿折生まれ。
趣味：筋トレ、格闘技、アウト
ドア全般。